

# 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月7日～

先週は週の前半はリスクオンの動きでしたが、米国債がフィッチ(米国の格付け会社)に格下げされたというニュースで株価などが大きく下落しました。

米国債の格下げは2011年の8月にもあり、この時もリスク回避的な動きが出ました。

今回は、その時の混乱よりは落ち着いた動きになると思いますが債券市場の混乱は株や為替に影響が出るので、情報はしっかり見ておきたいです。

米国と日本の長期金利が上がってきていることもあり、株価にとっては逆風が吹き始めています。

米国の長期金利は昨年の高値あたりまで上昇してきており、4%を超えてきています。

日本の長期金利も先月、日銀がYCC(イールドカーブコントロール)の運用見直しを発表したことで0.65%あたりまで上昇しています。

先週、日銀は2回ほど臨時指値オペを通知するなど長期金利の急騰を抑える措置は取りましたが長期金利の方向性としては上がっていく可能性が高いです。

株価にとってマイナスの材料が多く、夏期休暇で売買が減っているため積極的に株を買っていく動きは出にくい状況です。

今週はリスク回避的な動きを警戒したいです。

春以降、米国株は強い動きが続いていましたが7月後半あたりでピークをつけて、8月に入って少し下げてきました。

今週、大きく米国株が下げてくる動きになるとクロス円もドル/円も下落リスクが高まりそうです。

先週末は、米国の雇用統計の発表がありましたが発表直後は乱高下しましたがマーケットの終わりにかけて円高、株安の動きとなりました。

ドル/円で見ると週の前半は上昇、後半は下落して、結局先週初めのレートとほとんど変わらないところで終わっています。

雇用統計の結果は、非農業部門雇用者数は予想より少なかったものの失業率は改善され、平均時給も予想を上回り、雇用情勢は比較的強い状況が続いています。

今週は米国の消費者物価指数の発表がありますが結果次第では、9月利上げへの思惑が高まるかもしれません。

## ● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル/円>

先週のドル/円は141円台から上昇し、144円手前で失速、その後下げて141円台後半で取引を終えました。

## 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

流れとしては、先週後半からの下落が止まったようには見えないので、週明けから下がるリスクがあります。

下値は、141.5円を割り込むと140円台にあるサポートで止まるかどうか注目。

140円を割り込むと139円台にもサポートがあります。

このあたりで下げ止まれば、春から続いているドル/円の上昇トレンドは継続ということになりますが138円台まで下げてくるとトレンドが崩れてくるリスクが出てくるため注意がいります。

上値は、142.3円あたりを超えてくると再度143円を目指す動きになりそうです。

方向感はありませんため139-143円程度のレンジを意識しながら取引したいです。

### <気になるクロス円>

クロス円の多くも先週後半から下がってきているペアが多いです。

下げ止まるまでは、買いは様子見が安全です。

週明けに底打ち反転して、上昇し始めたら買っていきたいです。

オセアニア通貨は、8月に入ってからじわじわと下がってきており、週足も7月以降、陰線が多いため下落リスクはおさまっていません。

豪ドルが弱い動きになっているのは、先週、利上げを見送ったことも影響しています。

オーストラリアはそろそろ利上げサイクルが終了という予想が強まり、金利先高感からの買いの動きに陰りが見えてきました。

\*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

### <今週のファンダメンタル？>

日本では6月貿易収支などがあります。

米国では6月貿易収支、7月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、7月月次財政収支、7月卸売物価指数、8月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツで6月鉱工業生産、7月消費者物価指数などがあります。

ほかには英国で4-6月期GDP(速報値)、6月GDP、中国で7月貿易収支の発表などがあります。